



羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.47 (No.5)
 平成21年7月発行
 社団法人岡山県介護福祉士会
 〒700-0813
 岡山市北区石関町 2-1
 岡山総合福祉会館 5階
 TEL:086-222-3125
 印刷編集協力：友野印刷



おもいやり

おおきな おおきな 妊婦さんのお腹を
 102歳の小さな手が やさしく やさしく 触れました

「大事にせられえよ」

「元気な赤ちゃん産んで帰ってくるから、元気にしとってよ!」

産休に入る前の職員と利用者との何気ないやり取り。

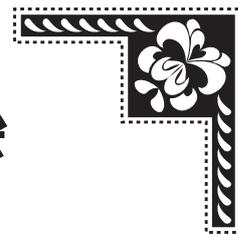
二人ともに5月に無事出産。現在、育児に奮闘中！

子育て支援にあさひ園も奮闘中！





平成21年度 社団法人岡山県介護福祉士会 通常総会及び一般公開講座



平成21年5月23日（土）にきらめきプラザ・ゆうあいセンターで通常総会を開きました。出席者87名、委任状613名でした。外部理事臨席のもと議事に入りました。議案「平成20年事業報告及び収支決算の件」・「岡山市の政令指定都市移行に伴う定款の住所変更について」は、原案通り承認されました。その他の報告事項として、「社団法人岡山県介護福祉士会役員に関する規則について」があり、役員改選の流れの説明がありました。

総会終了後の一般公開講座では100名を超える参加者がありました。講師に(株)アウラ心理教育センター代表取締役、教育学習士であり臨床心理士の本多公子先生を迎え「心軽やかに～今日からできるストレスマネジメント」と題して、実技を交えて講演がありました。

「今までとは違う角度からもの見方や捉え方を変える・ストレス（ストレス源）に対し自分の反応する傾向を知る・筋弛緩法を取り入れ心身の緊張をほぐす・バーンアウト（燃え尽き）を防ぐため目標を細かく立て、ひとつひとつの達成感を味わう」というストレスの対処法を話していただきました。

介護の仕事は特にストレスが多いとも言われております。ストレスによって仕事への意欲や健康を損なわないよう上手に対処していきたいものです。



総会の様子



一般公開講座の様子

お知らせ

介護福祉士国家試験受験対策
平成21年度全国統一模擬試験

試験日：平成21年12月13日（日）
会場：JA岡山

詳しくはホームページをご覧ください。

〔研修報告〕

高梁・総社地区ーレクリエーション研修会

平成21年3月13日に高梁文化交流館において、高梁・総社地区の研修会を開催しました。

この研修会は3回シリーズで計画している研修の第2回目です。今回の研修の講師に、たかはしレクリエーション協会副会長の草野洋子先生をお招きしました。内容は「デイサービスで使えるレクリエーション」として実技を中心に行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、多くの会員の方が参加されました。また、他職種や会員外の方の参加も多くあり、レクリエーションに対する関心の高さを伺うことができました。最初はみなさん緊張ぎみでしたが、ストレッチや深呼吸を行っていくうちに参加者の緊張もほぐれ、楽しい雰囲気の中で研修を終えることができました。



今回の研修会で行われたレクリエーションの一部を紹介します。

☆^{けんこう}健口体操

♪『むすんでひらいて』♪

よく手を使って行うことが多い歌ですが、今回は口（顔）を使って行いました。（顔を使う為、歌が歌えないので、草野先生が歌って下さいました。）

- 「むすんで」…目を閉じて、口をすぼめる。
- 「ひらいて」…目・口を大きくひらく。
- 「手をうって」…この部分は歌詞を変えて「ベロ出して」とし、舌を出す。
- 「その手を上に」…この部分も「手」を「ベロ」に変えて舌を上にあげる。

☆回想法

『ふきのとう』

この研修会が3月中旬に行われたこともあり、草野先生が“ふきのとう”を見つけて来られたことから、「ふきのとう」で思い出すことや言葉を紙に書いてビンゴゲームをしました。このゲームの時は6人1グループを作り、グループで考えてもらいました。

※“ふきのとう”で連想された言葉の例 雪どけ、春、天ぶら、土手 etc.

第15回 中国・四国ブロック研修会

『介護の力を明日につなげよう』

～話そう、楽しさを！引き継ごう、喜びを！～

平成21年6月25日（木）、岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）において、県内外から400名余りの参加者を得、第15回 中国・四国ブロック研修会を開催しました。

来賓として厚生労働省、岡山県、岡山市、県社会福祉協議会よりお迎えし心あたたまる励ましをいただきました。

実践研究発表は中国・四国9県の代表が日頃の介護実践を発表し、熱心な討議が行われました。また、今回の研修会の開催にあたり、協賛いただいた団体と企業は50の事業所であり、その内出展いただいたのは17事業所でした。このように地元をあげての応援の中での研修会となりました。



来賓



会長



会場全体



厚生労働省行政説明 浅見 洋氏

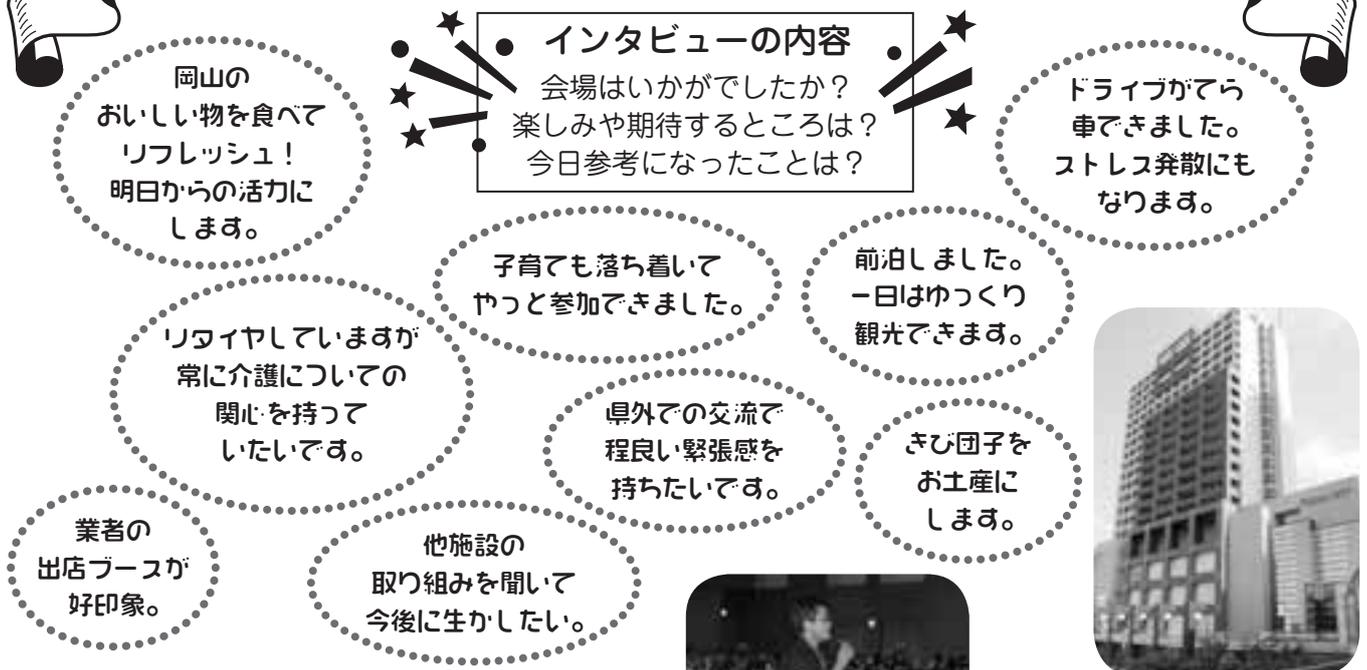
厚生労働省から介護保険制度の現状と今後の動向について資料をもとに説明を頂きました。

さわやか福祉財団理事長 堀田 力 氏による記念講演
「介護福祉士の役割」～今！介護福祉士が目指すもの！！～



物を作る時代から人を育てる時代となった。
人の幸せを直接作り出す職業は少ない。
充実感、達成感を感じる事ができ、かつ与えてもらえる介護の仕事のすばらしさを訴えたい。
と介護福祉士への期待と激励（エール）を頂きました。

インタビューを100人の参加者にしました



ママカリフォーラム



質 問



参 加 者



実践発表の様子

実践研究発表会の内容

	県	テ	ー	マ
1	広島県	住みなれた自分の家で暮らす		
2	岡山県	利用者の希望をかなえよう		
3	高知県	『ユニットケアでの認知症ケア』 ～Oさんの日常での役割（家事）を見出して～		
4	愛媛県	訴えが多い利用者に対するタクティールケアの効果		
5	徳島県	尊厳ある自立生活支援のあり方を考える ～M氏の食生活における介護過程から～		
6	香川県	介護とレクリエーション ～気づきとゆとり～		
7	山口県	介護リーダーにおける自己研鑽と自己評価		
8	鳥取県	尊厳ある生活支援を目指して ～生活歴からとらえた間接的アプローチ～		
9	島根県	転倒が多い利用者への転倒防止のかかわりについて		
10	岡山県	ターミナルケア ～ご利用者とご家族を支えて～		

人として寄り添っていける介護の仕事のすばらしさを再確認できた一日となりました。次回は高知県での開催です。

ファーストステップ研修を終えて

横田 一美

介護の職場で働き始めて約7年経とうとしている今、もう一度自分の介護観ということについて考えてみたいという何気ない思いから、今回ファーストステップ研修を受講しました。

今までは自分よりも経験年数の長い人から介護技術などの基礎的なことはもちろん、介護に対しての考え方などを自分が教えてもらうことばかりでしたが、7年近く経ってくると自分よりも経験年数の短い人が増え、質問をされることや成功したこと失敗したことなどの経験を伝えていくことが多くなってきました。自分自身が何気なく考え行っている介護のことを相手にどのように伝えていけばよいのか、また日頃は何気なく思い、通り過ぎてしまうことについて少し立ち止まって考え、今までおこなってきたこと・考えてきたことを事前・事後のレポートによって振り返って考えるということができました。

今回の研修は、講師の先生からの一方的なものではなく、グループワークが中心でした。経験年数・立場・働いている施設などが違う方とのグループワークは、自分で考える・考えを伝える・相手の意見を聞くといったコミュニケーションの訓練にもなったと思います。また、研修といえば利用者の方へのケアについてのことが多いですが、利用者の家族のことや他職種との連携、学生時代の机上では分からない観察の視点など介護の現場に出て経験したからこそ学べる内容もありました。

職員間での問題解決について、介護職の健康・ストレスなど介護福祉士として長く働くにはどのようにしていけばよいのかということなど、現場で働く介護福祉士自身についての内容もありました。介護の職場で働く介護福祉士自身のことについての研修の機会はありませんかと思えます。介護保険制度が始まり介護福祉士としての認知度や必要性は高くなってきたと思えます。しかし、日々介護業務に追われてしまい、介護福祉士としての役割・専門性とは何かということをお忘れかけてしまっている方も多いのではないかと思えます。現在『介護の人手不足』は社会的に問題となっています。介護に先が見えず、現場から離れていこうとしている人には、介護は「答えのないもの。人間（ひと）にしかできないこと。高齢者であれば、ほとんどの場合利用者の最後に関わらせてもらえるというだれにでもできる仕事ではないから大変ではあるけど、介護はやりがいのある仕事だと思うよ」と言えるように自分自身も、もっと介護の素晴らしさを伝えていけるような介護福祉士になっていきたいと思いました。

今後のファーストステップ研修を一人でも多くの方に受講していただきたいです。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報部会

安達 悦子	柿原 圭子
田村 嘉章	花田 智美
荻野 明弘	藤井 奈穂
池田 光裕	中山富士子
岡田 修	濱野 寛子